

価値創造を実現する事業戦略

At a Glance ー5つの事業セグメント(川上から川下まで)ー

当社グループの事業は5つのセグメントから構成されており、産業の基礎素材となる基礎化学品から一般消費者向けの最終製品まで幅広い製品を提供しています。川上から川下まで多岐にわたる製品群を有することから、景気の変動に影響されにくいバランスの良い事業構造を築いています。

基幹化学品事業

P54

無機化学品

- カセイソーダ
- 塩素
- 次亜塩素酸ソーダ

工業用ガス

- 酸素
- 窒素
- アルゴン

アクリルモノマー

- アクリル酸
- アクリル酸エステル

高機能材料事業

P60

高純度化技術・新製品開発

- 高純度液化塩化水素、高純度カセイカリ
…半導体製造用
- 無機機能材料
…イオン捕捉剤、抗菌剤
- メディカルケア
…医療用接着材料



ポリマー・オリゴマー事業

P56

合成・重合技術

- アクリルポリマー
…リチウムイオン電池用、化粧品・医薬分野向け
- 光硬化型樹脂
…半導体、基板向け
- 高分子凝集剤
…污水处理用薬剤
- セルロースナノファイバー



接着材料事業

P58

配合設計技術

- 車載電池用接着剤
- 電子材料用接着剤
- 光硬化型接着剤

マーケティング・ブランド力

- アロンアルファ



(出典：トヨタ自動車株式会社)



樹脂加工製品事業

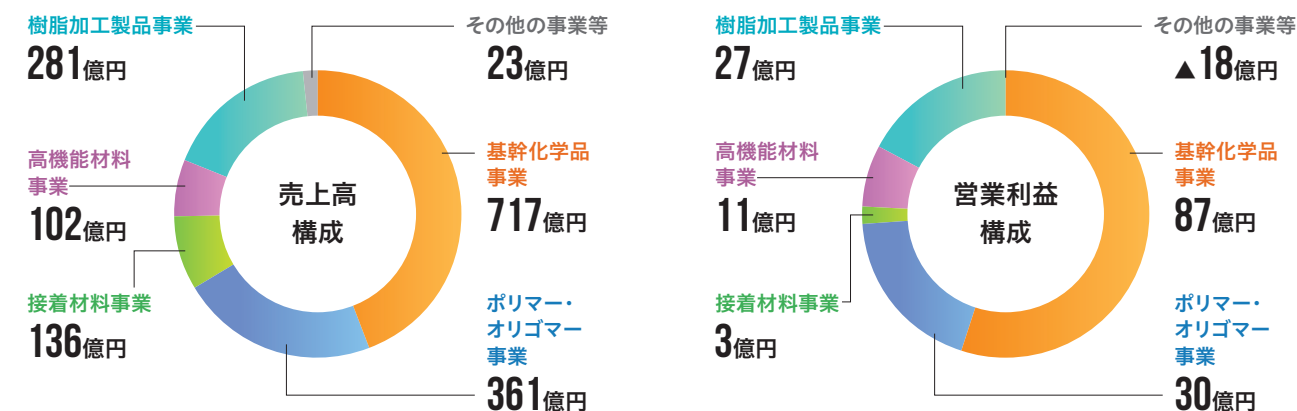
P62

加工・成型技術

- 洪水浸水・耐震防災・老朽化分野向け災害対策製品およびシステム
- 介護用品「安寿」シリーズ
- 自動車用シール材



収益構造(2025年実績・事業セグメント別)



トップシェア製品



半導体製造工程で使用されるクリーニングガス

半導体をはじめとする電子材料の洗浄やエッチングなどに使用されています。



光硬化型樹脂

スマートフォンの内部部品および表面コーティング、カラーレジストの内部部品などに用いられています。



家庭用瞬間接着剤「アロンアルファ」

瞬間接着剤の代名詞として、1971年の発売から長きにわたり皆様に親しまれています。



高品位次亜塩素酸ソーダ

高い安全性が求められる水道水やプールなどの水の滅菌に利用されています。



介護用ポータブルトイレ

トイレまでの移動が難しい場合にベッドの近くに設置する可搬型トイレとして利用されています。



塩化ビニル製マス・マンホール

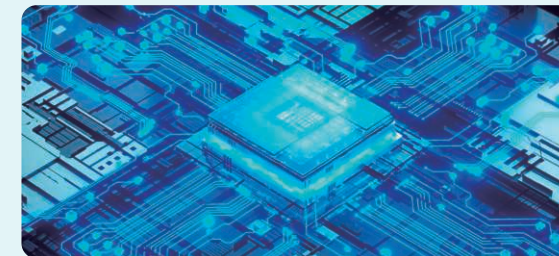
トイレなど建物から出た汚水や雨水を処理場や河川まで搬送する排水管路で使用される、点検・清掃のための蓋が設けられた構造物です。

未来を切り拓く成長ドライバー

半導体

P26

半導体の成膜工程やエッチング工程で使用する高純度液化塩化水素は世界シェアNo.1です。また、CMPスラリーや洗浄に使われる高純度カセイカリも品質の高さからシェアが拡大しています。将来を見据えた供給体制の拡充、微細化に対応した高純度化や新規開発を進め、半導体分野におけるさらなるシェア拡大を進めていきます。



モビリティ

P27

車載電池用接着剤やリチウムイオン電池用バインダーをはじめ、多くの製品が自動車に採用されています。FCV(燃料電池車)からHV(ハイブリッド車)、EV(電気自動車)、ガソリン車、ディーゼル車と全方位に展開している点が当社の強みであり、特徴です。



メディカル

P26

当社の創薬デザイン技術を駆使した「siRNA^{※1}」は核酸医薬品として、また、「ヌクレオロン^{※2}」はDDS(ドラッグデリバリーシステム)として、多くの可能性を有しており、大学等のアカデミア、ベンチャー企業と連携して共同開発を推進しています。



※1 siRNAは特定の遺伝子の発現を抑える働きを持つ核酸の一種。標的の遺伝子を分解し病気の原因となるタンパク質の増殖を防ぐ。この機能を利用し、次世代医薬品としての研究開発が進んでいる。

※2 ヌクレオロンは東亜合成が開発した細胞透過性ペプチドであり、薬物送達性を高めるDDS(ドラッグデリバリーシステム)として早期実用化を目指している。

下水道老朽化対策

P28

下水道老朽化対策分野で国内トップシェアの製品と高度な診断・補修技術を有しています。国土強靱化計画を背景に需要増加が見込まれ、マッピングシステムによる管路診断などのソリューション提案型ビジネスも展開し、社会インフラの安全強化に貢献してまいります。



割れ・破損



漏水箇所へ接合し補修

基幹化学品事業

事業概要

各種産業や社会インフラに必要な化学品を取り扱っています。様々な産業分野に原料となる製品を供給するとともに、グループ内の事業、特に高付加価値製品の原料を供給する機能も担っています。

● 無機化学品事業

電解関連製品^{※1}と、硫酸・アグロ製品^{※2}。

※1 カセイソーダ、カセイカリ、次亜塩素酸ソーダ、塩酸、塩素、亜硫酸ソーダ、酸化銅など。

※2 硫酸、重炭酸カリなど。

● アクリルモノマー事業

アクリル製品^{※1}と、化成品^{※2}。

※1 アクリル酸、アクリル酸エステルなど。

※2 ATBS（アクリルアミドターシャールブチルスルホン酸）、エチレンカーボネートなど。

● 工業用ガス事業

酸素、窒素、アルゴンなど多種にわたる産業ガス。



執行役員
基幹化学品事業部長
並木 憲二

基幹化学品事業は、産業に不可欠な基礎化学品を安定的に生産・供給していくことが使命ですが、産業の構造変化を見極め、事業を強化・再編していくことも重要です。顧客やパートナーからの要望に応えるほか、原燃料や製法の転換、リサイクルや新規エネルギー技術の開発など、社会のニーズに貢献する事業運営によって将来的な競争力強化に努めていきます。

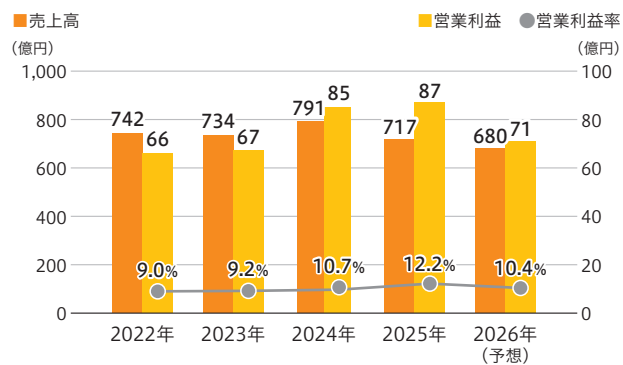
2025年度 レビュー

国内では石油化学など多くの基礎化学品で需要低迷や事業再編がみられるなか、電解関連製品は安定した底堅い需要に支えられ、当社の無機化学品事業も堅調に推移しました。今後も安定供給を果たすため、中長期計画に沿って設備増強、更新、保全を進めています。

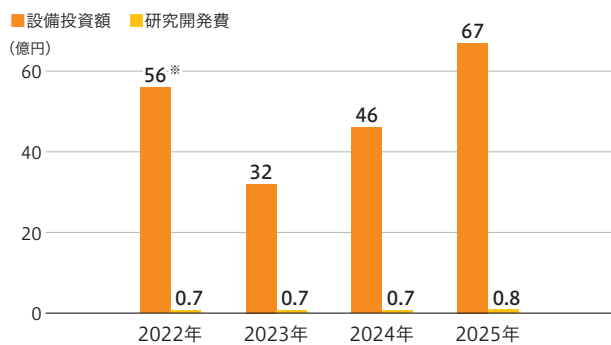
事業方針として、環境・SDGsへの貢献を重要視しています。エネルギー多消費設備である電解プラントについて、高効率・省エネ設備への更新工事が進行中です。このほか、環境貢献事業である「閉鎖循環式陸上養殖」の大規模プロジェクトに参画し、各種無機薬品の供給準備を進めています。また、水道水浄化用の高品位な薬剤の需要が増加しており、これに対応した設備増強を完了しました。

なお、当社グループのポートフォリオ強化戦略の一環として、2025年12月をもって、川崎工場の塩化ビニル樹脂の受託製造を終了いたしました。

本セグメントの売上高・営業利益推移



設備投資額・研究開発費



※ 川崎工場 工場用土地取得費用115億円を除く

競争優位性・課題・成長の機会

	無機化学品事業	アクリルモノマー事業	工業用ガス事業
競争優位性	・東・中・西日本に製造拠点を有し、地産地消とBCPが可能 ・JWWA特級次亜塩素酸ソーダを全国展開	・高効率、高品質を両立する生産体制 ・ATBSの重合技術による品質優位性	東海・北陸地区に地区最大の生産拠点を有し、グループ内輸送会社を活用した安定供給体制を構築
課題	最新技術や環境投資を3拠点で横展開するために、計画的な実行と投資が必要	汎用品市場で海外勢との競争が高まり、差別化やコスト低減による競争力強化が必要	原燃料・労務費等のコストアップや関税政策等による需要家の国内製造拠点の縮小
成長の機会	電子材料向けや環境配慮型製品の需要が高まり、当社が持つ高純度化技術を応用した製品の展開が加速	環境配慮型製品の需要が高まり、バイオマス・リサイクル原料由来製品の展開が加速	省エネ・カーボンニュートラルに向けた顧客製造プロセスの改善・更新

中長期的な成長戦略

無機化学品事業

電解事業は、物流効率化の必然として市場がブロック化するなか、設備更新・増強や輸送体制の再整備を行い、安定供給体制を強化するとともに、地域の顧客・パートナーとの協業、共創により、新製品の開発や新事業の起業を進めます。また、高性能省電力設備への転換と再生エネルギー使用比率を高め、CO₂排出削減を推進します。

硫酸事業は、需要拡大が見込まれる電子材料向けなどの新規需要を取り込むことで安定した操業を確保し、製造時に併産されるスチームを活用し、製造拠点のCO₂排出量削減に貢献していきます。

アクリルモノマー事業

アクリル事業は、需給変動に柔軟に対応できる操業体制の確立とたゆまぬコスト低減を進め、競争力の維持拡大に努めていきます。また、バイオマス・リサイクル由来原料の活用を進め、カーボンニュートラル社会の実現へ貢献していきます。2025年にアクリル酸のISCC PLUS認証を取得しました。今後、アクリル酸エステル、チェーン下流のポリマー製品などへの展開と、ATBSでは世界初となる認証取得で差別化を図っていきます。

工業用ガス事業

中部・北陸地区に製造拠点を有し、地場産業に密着した事業活動を通じて自動車を始めとした全国有数の「ものづくり圏」への安定供給に努めていきます。顧客のカーボンニュートラルへの取組みにフォーカスし、ガスアプリケーションの探索・提案に注力していきます。また、当地区では数少ない高圧ガスローリー容器整備場を保有しており、設備点検を含めたユーザーフォローを強化し、製品貯槽の液面監視システム導入、検査にかかる環境負荷の低減、製造・配送など環境に配慮した事業運営を目指します。

FOCUS TOPICS

高品位次亜塩素酸ソーダの製造能力を増強

横浜工場の「日本水道協会（JWWA）特級グレード次亜塩素酸ソーダ」（特級次亜）の設備増強が完了し、本格稼働を開始しました。特級次亜は不純分を低減した高品位な次亜塩素酸ソーダで、安全な水の提供に欠かせない素材です。首都圏の水需要を支える存在として、供給体制を強化し、社会の安心・安全に貢献していきます。



浄水場（イメージ）

電解工場の更新および3工場操業統合管理システムの導入

名古屋工場の電解プラント更新に着工し、2026年の稼働開始を予定しています。更新にあたり高効率・省エネ設備を導入するとともに、併産される水素の有効活用にも取り組み、より一層のエネルギー効率向上とCO₂排出量削減を目指します。

また、横浜・名古屋・徳島の電解3工場の操業データを統合管理するシステムを導入します。複数のプラントに存在する情報を統合して管理することで、安定操業や効率化など、より一層の合理化と付加価値創出を目指します。



統合管理システム

ポリマー・オリゴマー事業



事業概要

生活用品から自動車、半導体、電子材料、医薬・化粧品まで、幅広い分野で使用するアクリル製品を取り扱っています。また、セルロースナノファイバー「アロンフィプロ」の開発にも取り組んでいます。

● ポリマー事業

アクリルポリマーは、モビリティ・電子材料・医薬・化粧品などの注力分野に加え、水処理用薬剤・製紙用顔料分散剤・建築向け接着剤・シーリング材用樹脂など、汎用品から高度に制御された製品まで、国内外の幅広い分野で使用されています。

● オリゴマー事業

光硬化型樹脂「アロニックス」は、無溶剤という環境面のメリットがあることから、インキ、塗料、電子材料など幅広い分野で使用されています。

● 凝集剤事業

生活および産業廃水の浄化や製紙などの薬剤として高分子凝集剤が使われています。

執行役員
ポリマー・オリゴマー事業部長
石井 宏明

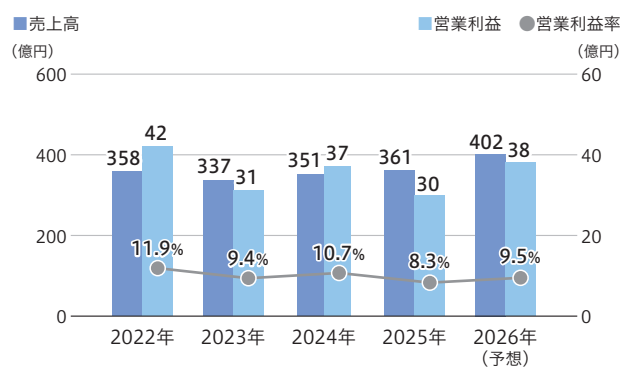


ポリマー・オリゴマー事業は、卓越した合成および重合技術を基盤に、長年にわたり蓄積された高純度化技術を融合させた高付加価値製品のラインアップを拡充し続けます。この取り組みにより、海外市場での発展を実現し、東亜合成グループ全体の成長戦略の中心的な役割を果たしていきます。

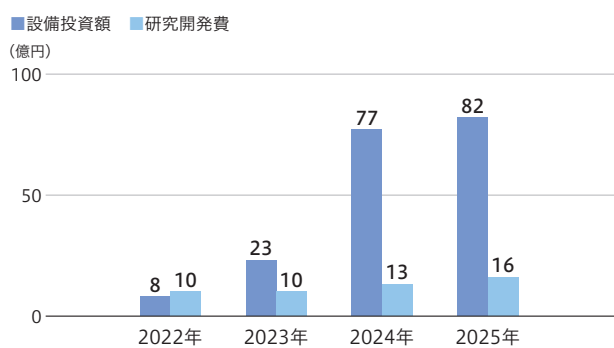
2025年度 レビュー

- **ポリマー事業** 化粧品および半導体用途向けの販売数量が増加し、増収となりました。リチウムイオン二次電池向け製品、医薬・化粧品向け製品の製造設備増強および高機能半導体用ポリマーの研究開発を推進しました。
- **オリゴマー事業** 国内外ともにディスプレイ製造関連製品が好調に推移しましたが、原燃料価格の高騰により減益となりました。AI関連分野の需要増に対応すべく、日本・台湾・中国3拠点での最適生産体制を整えました。
- **凝集剤事業** 海外向けの販売数量増加と国内向けの採算是正により、増収となりました。生産体制最適化による競争力強化を着実に推進、汚泥脱水性能に優れた高機能製品を上市し、事業基盤の強化に取り組みました。

本セグメントの売上高・営業利益推移



設備投資額・研究開発費



競争優位性・課題・成長の機会

	ポリマー事業	オリゴマー事業	凝集剤事業
競争優位性	高度なカスタマイズ技術(直鎖、分岐、架橋、粒度、分子構造など)と不純物低減技術(残モノ、残溶剤、金属不純物など)により、様々な顧客ニーズに対応可能	ラジカル硬化型のアロニックスは多官能アクリレートを軸に展開、カチオン硬化系のオキシentanもラインアップ	・生産性に優れる製造技術と構造制御技術により高品質な製品を提供 ・粉末・液状品を手掛ける唯一の国内メーカーとして多様な顧客ニーズに対応
課題	グローバルな競争力を高めるための生産拠点の最適化	グローバルに競争できる品質で差別化した製品展開	グローバルに競争できるコスト競争力と高機能製品の拡充
成長の機会	構造制御と高純度化技術を活用した、医薬品、化粧品、半導体分野での応用拡大	エレクトロニクス、半導体、AI分野等での販売拡大	構造制御技術により、水環境分野のエネルギー使用量削減に貢献、食品および医薬品への応用拡大、東南アジアを中心とした水インフラ市場への参入

中長期的な成長戦略

ポリマー事業

注力分野である自動車・電子材料・医薬・化粧品を中心に、多様な分野で強く求められる高機能・高純度のポリマーを創出し、市場の期待に応え続けます。

海外では、東亜合成（上海）企業管理・東亜合成タイランドを中心に、台湾東亜合成・Toagosei America Inc.とも連携し、現地顧客の多様なニーズに応える製品を展開していきます。

オリゴマー事業

多官能アクリレートをベースに、速硬化性・薄膜硬化性・微細加工性などの機能を付加した新製品の開発を加速し、光学材料、電子材料分野への販売拡大を図ります。

カーボンニュートラル時代への対応として製造時に発生するCO₂排出量削減の検討を進めます。

海外に関しては、生産拠点のある台湾および中国で、半導体・電子材料分野を中心に現地顧客ニーズに沿った製品開発による高付加価値品の展開に注力します。

凝集剤事業

当社グループのMTアクアポリマー株式会社は、高品質の高分子凝集剤「アロンフロック」、「アコフロック」、「ダイヤフロック」により、固液分離や凝集に優れた製品と、多種多様化する用途別に適切なソリューションを提供していきます。

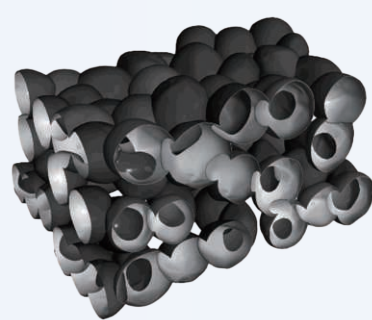
また、新製品開発を通じてカーボンニュートラルなどの社会課題に貢献するとともに、東南アジアを中心とした積極的な海外展開、生産体制最適化によるコスト競争力強化を推進していきます。

FOCUS TOPICS

株式会社3DC（以下、3DC社）への出資

3DC社は、東北大学発のベンチャー企業で、リチウムイオン電池の材料である導電助剤として、次世代の炭素材料「Graphene MesoSponge® (GMS)」の商用化を目指しています。GMSは、非常に薄い炭素の層がスポンジのような立体構造を持つ新しい素材で、柔軟性、多孔性、導電性、耐食性など、さまざまな優れた特徴があります。

今回の出資を通じて、電池分野で技術協力を進め、革新的な材料の実用化や新しい事業の創出に共同で取り組みます。



GMS(出典:3DC社)



電池分野での実用化(イメージ)

価値創造を実現する事業戦略

接着材料事業



事業概要

接着材料事業では、瞬間接着剤の代名詞となっている「アロンアルファ」をはじめ、電子材料・自動車・精密機器分野などでの新たなニーズに応えるべく、様々な高機能接着剤を取り揃えています。特に「アロンアルファ」は、少量、短時間で、加熱などのエネルギーも必要とせず、多くの素材を強固に接着できるという優れた特徴を持っています。“接着”を通じて、各種生産活動における省力化や生産性の向上を図ることで、お客様の技術革新に加え、温暖化ガス排出抑制にも貢献してまいります。

- **瞬間接着剤事業（コンシューマ事業・グローバル事業）**
「アロンアルファ」、「Krazy Glue」など、一般消費者向け瞬間接着剤。
- **機能性接着剤事業**
電子材料・自動車・精密機器などに使用される、反応型、光硬化型、ホットメルト型などの高機能接着剤。

執行役員
アロンアルファ事業部長
森 健太郎

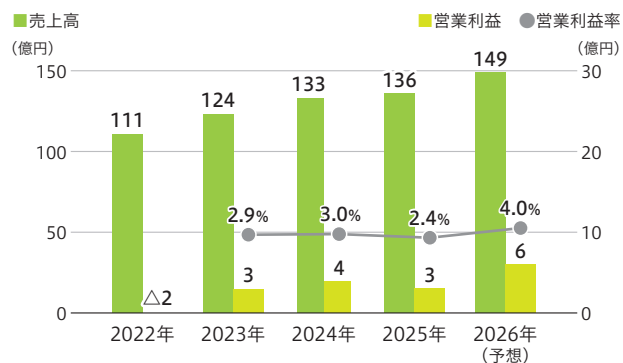


コンシューマビジネスでは、国内ではブランド力を生かした広告宣伝と売場の拡大と新商品投入による新市場の開拓を進めます。海外では、アメリカ、中国での販売力を強化、東南アジアやほかの開発国にも市場を拡大していきます。工業用ビジネスでは、モビリティや電子材料といった成長分野に注力し、国内にとどまらず海外市場への製品展開も推進します。

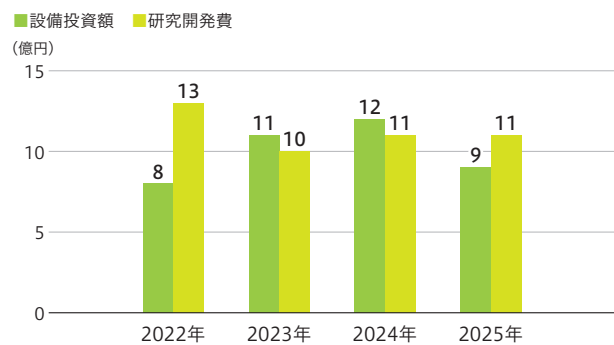
2025年度 レビュー

- **コンシューマ事業** 「アロンアルファ 光」を中心に販促活動を行いました。TVCMの放映や売場でのモニターや什器の設置、SNSを利用した動画配信などを実施。コンビニエンスストアでも採用されて販売店舗数が増え、前年を大きく超える出荷となりました。
- **グローバル事業** アメリカ、中国、東南アジアでの事業展開に注力しています。アメリカでは合併契約を解消して単独運営を開始しました。製販一体体制のメリットを活かし「Krazy Glue」の拡販を進めています。中国ではeコマースに加え、店頭向けに拡販を図っています。タイとフィリピンは販売が伸びており、また、2025年にはベトナムでも販売を開始しました。各国市場に合わせた販売戦略により短期間で実績を上げています。
- **機能性接着剤事業** モビリティ製品では、世界的なハイブリッド車の需要増と採用車種の拡大により、バイポーラ型ニッケル水素電池用接着剤の売上が堅調に推移しています。機能性接着剤製品では、ICカード用接着剤や電線止水シール材の海外顧客への新規採用が決定し、重点課題である海外販売の強化を推進しています。

本セグメントの売上高・営業利益推移



設備投資額・研究開発費



競争優位性・課題・成長の機会

	コンシューマ事業	グローバル事業	機能性接着剤事業
競争優位性	一般消費者向け瞬間接着剤の世界最長寿ブランドとしてギネス認定を受けた「アロンアルファ」の強いブランド力	アメリカを中心に瞬間接着剤の代名詞となっている「Krazy Glue」と日本No.1の「アロンアルファ」のブランド力	幅広い製品ポートフォリオをベースに、顧客要求に合わせた最適な処方設計・カスタマイズする技術力
課題	若年層へのブランド認知と安価品対策	販売網の整備と強化	海外市場への製品展開や売上の拡大
成長の機会	壊れたモノをすぐに直すために便利な商品であり、いつでもどこでも入手できる商品としての売場拡大の追求と、模型やアクセサリなどものづくりでも便利な接着剤として市場を拡大	一般消費者向け瞬間接着剤の世界市場は拡大しており、特に人口が増加している開発国への新規市場開拓に注力	・次世代モビリティの進化を支える接着ソリューションの提案 ・EV・水素デバイス向けの高度な機能性材料に加え、循環型社会を見据えたりサイクル・易解体技術による、性能とサステナビリティの両立

中長期的な成長戦略

コンシューマ事業・グローバル事業

瞬間接着剤のマーケットリーダーとして、「アロンアルファ」のブランド力を高めてまいります。TVCMだけでなく様々なメディアを通じて、「アロンアルファ」の魅力を届け、幅広い世代のファン獲得を目指します。また、新商品を投入し、新たな「アロンアルファ」の市場を開拓していきます。

海外では、アメリカにおける「Krazy Glue」のブランド力強化、アジア周辺国での「Aron Alpha」ブランドの拡大によりグローバルに拡販を進めます。

機能性接着剤事業

機能性接着剤事業では、分子設計・配合・解析技術を核とした独自の処方開発により、高付加価値な製品を展開しています。現在は、成長戦略の柱として「モビリティ」と「電子材料」分野に注力しています。モビリティ分野では次世代電池や車載カメラ・センサー類、ECU周辺部材の進化を支える材料開発を、電子材料分野では回路基板用絶縁封止材やナノインプリント樹脂に加え、次世代の光電融合材料の研究開発に取り組んでおり、最先端技術の社会実装に貢献します。

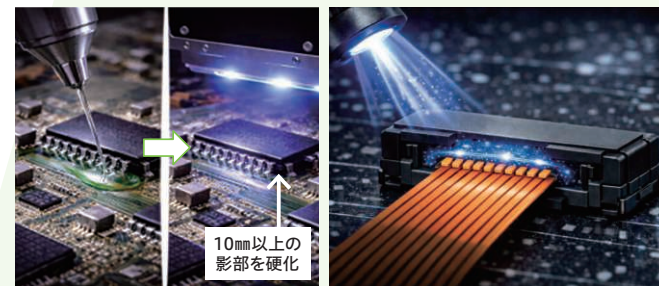
FOCUS TOPICS

新作アニメCM「つくの子」をリリース

若年層の認知獲得のため、7年ぶりにくっつけ青春シリーズの新作アニメCM「つくの子」をリリース。本編動画はYouTubeで1,200万回以上再生され、SNSニュースでも多くの媒体に取り上げられました。またXの同キャンペーンサイトは、表示回数230万回を達成し、確実に若年層へ訴求することができました。その結果、10-20代の「アロンアルファ」の認知率向上を果たしました。



新技術紹介 影部も硬化する光硬化型接着剤



用途例

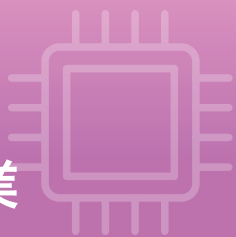
FPCコネクタや電子基板等の影部ができる部品の絶縁封止

光硬化型接着剤は、光照射により秒単位で接着できる点が大きな特長です。一方、金属や着色樹脂などの不透過材料を接着する場合、光が届かない「影の部分（影部）」が生じ、光硬化型接着剤の適用が難しいことがあります。こうした場合でも光硬化型接着剤を使用したいというお客様のニーズがありました。

当社はこのニーズに応えるため、光が直接当たらない部分でも硬化が進行する独自の反応機構を確立し、光照射のみで影部まで硬化させる新技術を開発しました。これにより、従来は適用が困難だった部材・用途にも展開でき、幅広い産業分野での普及を目指しています。

価値創造を実現する事業戦略

高機能材料事業



事業概要

高機能材料事業は特徴ある素材の機能を追求し、様々な製品群を展開しています。高純度無機化学品は主に半導体向け材料を、無機機能材料は、より快適な生活を実現するための様々な製品を取り扱っています。

● 高純度無機化学品事業

半導体の製造工程で使用される高純度液化塩化水素、高純度アルカリ製品、六塩化二ケイ素、次世代半導体材料など。

● 無機機能材料事業

不純物イオンを捕捉し電子部品の誤作動を抑制する「IXE」、繊維・プラスチックなどの素材に消臭・抗菌・抗ウイルスなどの快適機能を付与する「ケスモン」、ノバロン」、および負熱膨張材のウルテアなどの各種機能性添加剤。

● 新製品開発

メディカルケア関連製品の開発。

執行役員
高機能無機材料事業部長
高野 隆司



半導体は、私たちの身の回りのあらゆる製品に使われており、快適で便利な暮らしを実現しています。当社はこの半導体製造にかかせない高純度な化学品を提供しています。また、当社の機能性添加材は、お客様の製品に使われることで機能をより向上させ、安全安心な生活に役立っています。

2025年度 レビュー

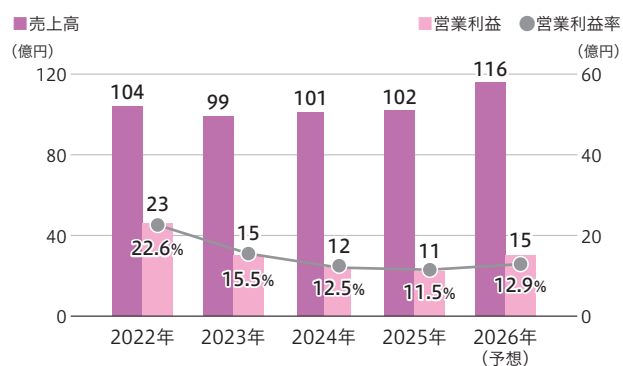
● 高純度無機化学品事業

AI需要の拡大によって、半導体分野向けの販売が回復しています。2025年後半から、高純度液化塩化水素や高純度カセイカリの販売が増加しました。最先端半導体需要への対応として、供給量の拡大に加え、さらに品質向上を進めています。高純度液化塩化水素は、横浜工場で設備の増強工事を完了しました。高純度カセイカリは、名古屋工場の設備増強が2026年7月に完了する予定です。今後も、他社の追従を許さない強靱な供給体制を構築していきます。

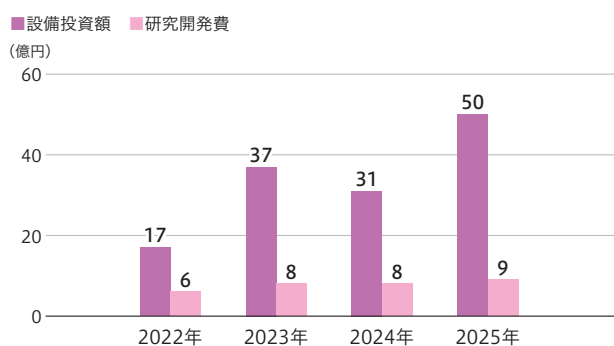
● 無機機能材料事業

封止材の「IXE」は国内外の電子材料分野で販売が増えました。抗菌・抗ウイルス剤のノバロンは一部製品で原料高騰分の価格転嫁が進み、増販となりました。消臭剤のケスモンは、国内の繊維向けが堅調でした。また、2025年は製造工程の合理化を進め収益が大幅に改善しています。今後も、機能材料の技術開発を推し進め、製品の差別化を図っています。

本セグメントの売上高・営業利益推移



設備投資額・研究開発費



競争優位性・課題・成長の機会

	高純度無機化学品事業	無機機能材料事業
競争優位性	高純度液化塩化水素と高純度カセイカリは、半導体分野で高いシェアと高品質から確固たる地位を確立	・顧客要望や用途に応じた有効な合成・粒子制御技術（機能、形状、粒子径）や開発力 ・製品機能を発現させるための評価・分析技術とサポート体制
課題	・半導体業界の市場動向に大きく左右される ・半導体の構造や製造プロセス変化への対応	・抗菌剤は銀価格高騰による製品価格の上昇 ・海外法規制による拡販の足かせ
成長の機会	・品質優位性を武器に、拡販につなげる ・半導体後工程の複雑化による新規需要の喚起	・AI需要等半導体市場拡大によるイオン捕捉剤の需要増加 ・アジアなどでの生活水準向上による機能性繊維の市場拡大

中長期的な成長戦略

高純度無機化学品事業

半導体分野の需要変動や品質要求に迅速に対応できるよう、よりいっそう設備増強と高品質化に取り組みます。また半導体の製造工程で必要とされる特殊ガスについても研究を重ね、新たな製品を提供していきます。新製品開発においては、従来の半導体前工程向けに加え、後工程向けの材料開発にも取り組んでいきます。

無機機能材料事業

半導体の技術革新が進み、より高性能、高密度集積化に向かっています。封止材のIXEや負熱膨張フィラーのウルテアなどについて製品改良を進めています。また、消臭剤のケスモンは、繊維分野だけでなく新たな用途への展開を進めます。

FOCUS TOPICS

液化塩化水素の次世代プロセス開発

半導体の需要拡大および微細化・高集積化に伴う品質要求に対応するために、先進的な製造技術に基づいた設備を完成しました。2026年に品質評価を進め、2027年から本格稼働する計画です。



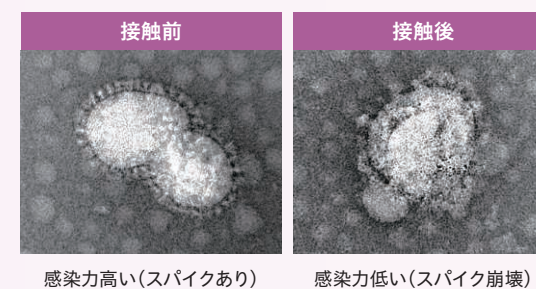
横浜工場 高純度液化塩化水素 新設備

抗ウイルス剤の開発

インフルエンザウイルスに対して高い抗ウイルス効果を発現する樹脂練り込み用抗ウイルス加工剤「ノバロンIV4000」を開発しました。

本材料を各種樹脂に対して2wt%練り込むことで高い抗ウイルス効果を付与できます。また、銀を含まないため変色しづらく、従来の抗ウイルス加工剤よりもコストを抑えることができます。

「ノバロンIV4000」と接触したウイルス液のTEM像



高純度カセイカリ増強

2025年にカセイカリの自動充填設備を新設しました。自動化により、作業効率の大幅な改善および充填能力が向上しました。また、クリーンな環境での自動充填により、高度な品質要求に対応できます。なお、高純度カセイカリの旺盛な需要に対応するため、2026年には生産能力を現状の1.5倍以上に増強します。

価値創造を実現する事業戦略

樹脂加工製品事業

事業概要

自然災害リスク、インフラ老朽化、超高齢社会、地球温暖化などの社会課題を解決するための高付加価値製品を提供しています。

● 環境インフラシステム事業

洪水被害や大規模地震などのリスクや老朽化したインフラの長寿命化などの社会課題に対して有効な対策製品およびシステムを提供。

● ライフサポート事業

福祉用具のリーディングメーカーとして「安寿」ブランドで排泄・入浴・移動歩行関連を中心とした福祉用具を提供。新たに高齢犬向けの製品を提供。

● エコマテリアル事業

リサイクル性に優れた熱可塑性エラストマー材料を自動車・電気電子部品・医療など様々な分野に提供。



備えて安心強い国づくり



「やりたい」を「できる」に変えよう。



サステナブルな社会を創出して



執行役員
アロン化成株式会社
代表取締役社長
松田 明彦



樹脂加工製品事業は、当社グループにおいて川下領域を担う事業です。特徴ある素材開発とプラスチック加工技術を武器に、環境インフラや生活サポートの分野において、高付加価値製品の展開、新事業の創出による事業拡大を目指します。社会課題に直結したビジネスユニットで成長領域に向けて新たなソリューションを提案していきます。

2025年度 レビュー

● 環境インフラシステム事業

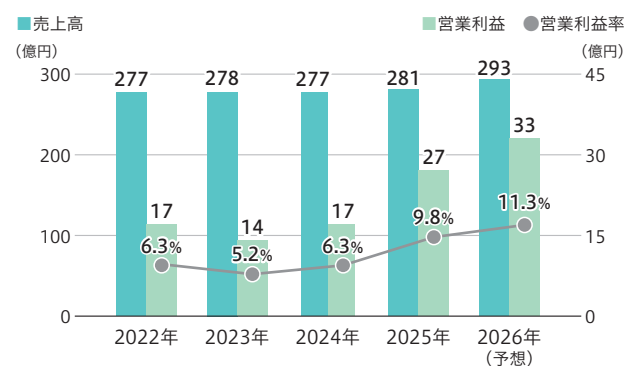
インフラ老朽化分野の展開に注力し、販売が拡大しました。また、下水道管路老朽化の課題解決に貢献できるソリューションテーマ「取付管用マッピングカメラシステム」の開発に目途がつけました。軽量かつ簡単に折りたたみためお手入れしやすい、新しいシャワーベンチ「A-S」シリーズを発売しました。

● ライフサポート事業

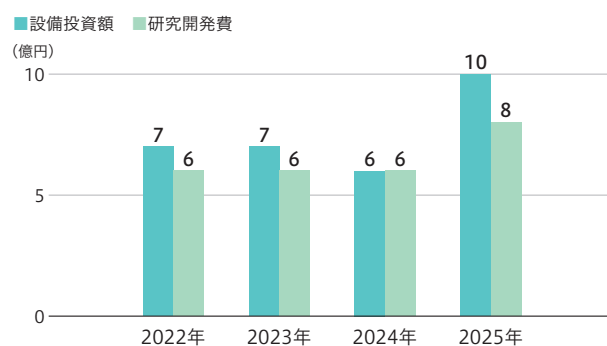
● エコマテリアル事業

エラストマー材料について、自動車分野の展開に注力し、販売が拡大しました。また、自動車分野における発泡緩衝材の手貼り作業の省力化に貢献する、発泡エラストマー塗布工法の提案を開始しました。

本セグメントの売上高・営業利益推移



設備投資額・研究開発費



競争優位性・課題・成長の機会

	環境インフラシステム事業	ライフサポート事業	エコマテリアル事業
競争優位性	長年のインフラ老朽化製品の開発で培った下水道補修の知識・ノウハウ	超高齢社会の介護需要をキャッチアップする「安寿」のブランド力と開発力	顧客の要求に細かく対応できる配合技術、アジア市場に対応できるタイでの生産販売体制
課題	システムを含めたソリューション提案	高付加価値製品の開発加速	エコ素材全般を対象とした製品群への拡張
成長の機会	国や自治体为主导する国土強靱化計画に基づくインフラ分野の需要拡大	超高齢社会における介護需要の拡大	カーボンニュートラル社会の実現に貢献するリサイクル材料の需要拡大

中長期的な成長戦略

環境インフラシステム事業

下水道管路老朽化の社会課題に対して、課題解決に貢献する対策製品およびシステムの開発に注力します。システムを含めたソリューション提案に向けた製品開発を強力に推進し、市場への投入を早期に実現します。

ライフサポート事業

要介護者の自立を支援するロボットやAIを活用したシステムなどの開発に注力し、介護労働人口不足の社会課題の解決に貢献するソリューションを提案していきます。また、高齢犬向け製品を展開する事業「OneAid」を拡大します。

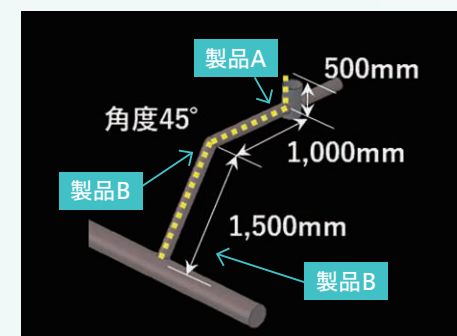
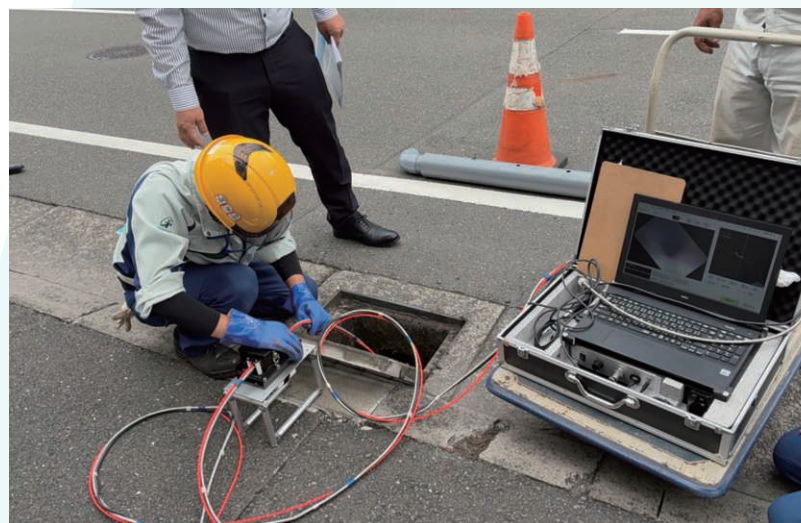
エコマテリアル事業

エラストマー材料については、2025年から提案を開始した発泡エラストマー塗布工法を早期に実績化し、自動車分野を拡大していきます。また、材料の販売を中心とした事業から工法や成形品の提案も行う事業へと事業領域を拡大していきます。

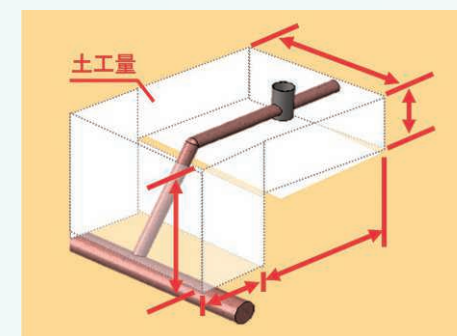
FOCUS TOPICS

「取付管用マッピングカメラシステム」の開発

「配管経路の図面化」「補修製品の自動抽出」「掘削土量の自動試算」などの機能を有する、自治体における取付管の改築計画の策定を支援するカメラシステムを開発しました。一部の自治体と共同でフィールドテストを進めており、早期の発売を目指しています。補修製品の拡販を図るとともに、調査診断ビジネスに進出し事業拡大を目指します。



「配管経路の図面化」「補修製品の自動抽出」



「掘削土量の自動試算」